



メッセージ頂きました



いつも私たちの前を歩きハンデのある方と真

24時間365日共に過ごされている先輩です。この10月エンデバーさんは、全国で5000か所あるといわれているA型事業所の中から選ばれた「全国優良A型事業所」17事業所の一つです。おめでとうございます♡

NPO法人ENDEAVOR EVOLUTION

理事長 松浦一樹

「今の福祉ではダメなんです。NPO法人のことを私に教えてください！」今から約9年前のことです。髪の毛を振り乱しながら真剣なまなざしで私の目を見ながら熱い思いを必死で語ってくれた女性がいました。それが現在NPO法人Joint Joy代表の山本陽子さんでした。

私自身も平成11年3月に京都府警察の少年課刑事を退職して、福祉の道を志していたのですが、やはり当時の福祉の有り方や社会福祉法人の事業の運営に不信感を抱き、平成18年の自立支援法施行と同時に「これまでにない福祉を作ってやる！」と従来の福祉では絶対にしなかった、企業と密接に連携した福祉事業所ENDEAVORを立ち上げたのでした。私は山本さんと話をしながら、その時の自分と重なり当時を思い出していました。

ENDEAVOR イムズともいえる福祉の有り方、考え方、事業の運営の仕方、全てにおいてしっかりお伝えをしたところ、それらを全て吸収してくださった山本さんは、これを基礎として自分達の思い描く事業所Joint Joyを作り上げられたのです。

事業所を立ち上げるということは、口で言うほど簡単なことではありません。それなりのお金や覚悟もいりますし、責任もつきまといます。立ち上げた者にしかわからない様々な苦労や問題もおきます。それらを乗り越えて8年目に入った山本さん、そして彼女を支えてきたスタッフの頑張りには本当にすごいと思います。

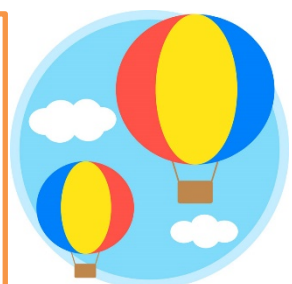
現在、事業所同士の直接的な連携はしていませんが、「夢を追いかけろ！クッキー」を製造販売して頂いたり、ENDEAVOR EVOLUTIONを軸とした異業種交流会「結いの会」にも積極的に参加して下さったり、ヤマトパワーアップフォーラムin福岡講演にも皆さんできて下さったりと積極的にかかわってくださるので私たちENDEAVOR にとってはfamily同然、非常に大切な存在です。

事業内容は違えども我らENDEAVOR グループと同じ価値観、方向性をもつ福祉事業所

助成金とメンバーさんの工賃

コロナの影響により就労支援事業の収入が下がる事業所に対し、京都府がその補てんとして「京都府障害者就労支援事業維持確保補助金」の交付を決められ、申請後その決定を頂いていました。そのため決定金額を5月の不足として7月分に合わせてメンバーさんにお渡ししました。

そして10月実績報告書を提出。6月弁当の売り上げが少し上がっていたので減額はあるだろうと想像しておりましたが、まさかの交付0円。何てこと！！確かにもっと困っている事業所もあるかとは思いますが、先にメンバーさんにお渡し





菓子



昨年一昨年とJoint Joy関係者と一部のお客様を対象に、クリスマスケーキと年末年始のお菓子販売をさせて頂いておりました。製造数に限りがあり、小さくほそぼそと...”(-“”)” 今年はまだもう少し欲を出してお知らせしてみようか...お菓子づくりのメンバーさんと相談。「だったら今からクッキーやサンタをつくらないといけませんね！」と返事が返ってきました。そのメンバーさんに「週数回しか来ないのに、たくさん注文が来てお仕事が残ったら誰がするのよー」ときくと、「もちろんスタッフしかいないですね」...

マジパンでサンタをクッキーでオブジェを作り、ご注文の前日にスポンジを焼いて当日仕上げなのですべて手作りの出来立て。意外に美味しいと好評でした！イベントもなくお菓子の売り上げも落ちているので、やっぱり頑張ってみようかな...。メンバーさんもはりきってもらって...頑張ってくれるかなあ...チラシができましたら一度ご覧くださいませ〜お年始用の上生和菓子も好評でしたよ!(^^)!

JJの皆さま

= お客様からお手紙をいただきました =

いつもお世話になっております。

Joint Joyのお弁当をとりつづけて何年か、利用者の皆さんの変化に目を開かせられました。社会的活動の機会を持つことで、表情、挨拶、声の調子、身振りさえ自信に満ちたものになってきました。

この事業を考え、実行に移されたスタッフの皆さんに敬意を表したい。そうして、その思いにこたえて日々がんばっている利用者の皆様の努力をたたえたい。 (中略)

私たちはここへきてもうすぐ5年になりますが、その間JJのお弁当にどれ程助けられたかわかりません。男山にJJがあつてラッキーだったと感謝しています。コロナの時代、先が見えないので緊張が続きますがお身体に気を付けてお過ごしください。

N様より

時折お客様からお手紙やメッセージを頂戴します。その中の一つをご紹介します。地域の方があたたかく私たちを見守り支えて下さっていることを実感し、また、私たちがお

Joyだより №14



2020.11発行

暑かった夏もすぎ、ようやく心地よい風にほっと一息つきながら、朝晩の寒気と風邪をひかないようにと、例年より気をつかう季節になりました。9月には夏の疲れから体調を崩す人もちらほらでしたが、10月近況の報告をしつつ皆さん通所されています。この春以降新たに通所を始められた3名もそろそろ慣れてこれ、体調を整えながらリズムづくりが進んでいます。企業就労希望の方が今はおられず実習が始まりませんが、そろそろ準備に向かっていきましょうと若いメンバーにアクションしているところです。

メンバーさんの収入につなげるために今一番力を入れている『弁当販売』は、工賃向上を目的とした「ヤマト福祉財団 楠元塾」での勉強も2年目を迎え、課題と目指す将来像にむかって実現させていくプロセスを学びながら今できる実践をすすめています。リーダー的なメンバーさんとはそのようなことも共有しつつ中期計画に重ねているところです。畑での野菜づくりは場も増えたことで毎日の作業が忙しくなり、ぐんと収穫が増え何かしらの野菜がお弁当に使えるようになってきました。菓子づくりでは9月から学童様のお誕生日用おやつのご注文を頂くようになり、ご要望をおききしながら季節をとり入れたものをご提案しお届けしています。夕食までの空腹をすこし埋め、地域の子供たちの笑顔が増えるようにメンバーさんも新しいお菓子づくりに奮闘しています。組みひも商品の売り上げを上げていくことはなかなか難しいのですが、売れない理由を考えることは将来につながり、皆で四苦八苦することは大切なことととらえ、試行錯誤しています。10か月がたつハンドメイドショップは受託作品（商品）がならびはじめ、お客様が時折訪れてくださるようになってきましたが、もうひと頑張りしたいところです。

実家暮らしで生活力ほぼゼロの僕は、Joint Joyで働き始めたころは洗濯機の使い方もわかりませんでした。それからの3年半、毎日が新しい「気づき」の連続でした。自分一人では仕事が進まない、スタッフやメンバーとのチームワークの大切さを学び、また、伝えたいことがうまく伝わらないもどかしさを連日感じていました。特にメンバーさんとのかわりの中で、悩むことが多くあり、いざ自分がメンバーさんの立場に立ってみると「あ～自分の伝え方がまずかったんだ…」と気づくことがたくさんありました。

みなと共働することやこのような経験から、人として少しは成長できたかな...と自分を振り返り、感謝も感じこの気持ちと共に頑張っていこうと思います。

退職にあたり
スタッフNよ





これから活躍してもらえると楽しみにしていた矢先に結婚で他府県に転居の事態とのこと...通勤も考えてくれたようですが、毎日片道2時間は...と退職を決意。残念ですが、新しい生活に頑張ってくれるよう、みんなで応援しま

新しい生活様式...part3

マスクが店頭から消え、ネットで高価なマスクを買わねばならない事態は八幡市からの支給により回避されました。また、高価になった手指消毒用のアルコールも、京都府や

八幡市からの支給でなんとか乗り越えました。本当に助かりました。ありがとうございました。さて10月、今回はニトリル手袋が店頭から消えました。あちこち探し見ついても

通常の2倍3倍の価格。食品加工に欠かせないニトリル手袋。元に戻るのは何時にな



=編集後記=

事業所のこれからを考えている中で、メンバーさんに「Joint Joyはここ（みなさん）に必要？」とたずねると、色々な理由をはなしてから「必要だと思う」と返答してくれました。そのような質問に対し自分の生活と合わせて考えや意見を伝えたり、他者（一緒に通うメンバー）の場合ならと思いつくことができるようになってこられた姿を見て、やっとこれから本当の意味での共働の場所が作れるのかなぁと感じています。そのメンバーさん達に負けないように、スタッフ自身も自分たちの思いや仕事場の将来また「みんなが幸せになる場所」を想像し取り組みを進めていければ、ステキなJoint Joyが出来上がるように思っています。

私事なのですが、健康診断のおかげで危うく神経内分泌腫瘍という病が重篤にならずにすみました。この時、託せる人が周りにいる必要性を実感しました。命は何時どうなるのか自分で決められるものではないからこそ、一日一日が大切で、メンバーさんが必要だと言ってくれるJoint Joyが良いかたちで存続し続けるためにも、ここに関わってくださる皆で作っていかないといけないものだと改めて心に留めました。健康診断は大切です！！





〒614-8376

京都府八幡市男山竹園2-1 A03-110

☎075-981-2111

fax075-981-2277

特定非営利活動法人 Joint Joy

male joint-0523@forest.ocn.ne.jp

HP <http://www.jointjoy.jp>

指定サービス事業所

就労移行 就労継続B 就労定着 № 2612901369

指定計画相談 № 2632901522